

よりよい交野市政と  
大阪府政をめざして!



編集後記

昨年の10月議会と12月議会のレポートを作成しながら、この1年半ほどの間の大きな変化と忍耐の日々を振り返っておりました。昨年9月には、黒田新市長が誕生し、また、12月の総選挙では、交野市・枚方市の大阪第11選挙区におきまして、佐藤ゆかり候補が自民党の念願であった小選挙区での当選を果たされました。

政治家が何をもちて“頑張っている”と有権者から評価されるかには意見が分かれるところですが、インドアで仕事のできない議員はアウトドアで頑張ります。それすらできない者は評論家になります。

何もしない・何もできない政治家に対して有権者がNOを突きつけた選挙が続いていると感じております。

今年も、まだまだ選挙が続きます。この地での政治家の世代交代と政治の正常化の流れが続くことを願いつつ、自らも身が引き締まる思いで、春の“大一番”に臨んで参ります。

交野の民意を信じて頑張ります!!



Making a better  
KATANO-CITY!

プロの視点から市政をチェック! 松本直高の市政報告書「M-REPORT」



REPORT

2015.02

No.

06

2014年12月～2015年2月

まつもと なおたか



自由民主党

交野市議会議員

# 松本直高

## 2015年、府政にチャレンジ!!

昨年9月に自民党大阪府連交野市府政対策委員長に任命されました。この間の交野市議会議員としての経験や税理士・行政書士の業務で培った専門的知識を活かして交野市民 8万人を中心とした大阪府民 880万人の福祉の向上に取組む所存です!

交野市議会議員を経験させていただきましたことで、カネ・ヒト・セイジが足りないという交野市の弱点を知ることができました。とりわけ、昨年10月に自民党大阪府連より、交野市では初となる『交野市府政対策委員長』に任命されてから、国や広域行政である大阪府と、どのような関係を構築すれば、依存財源に頼りきっている交野市にとってプラスになるのかを考えて参りました。

数少ない交野うまれ交野そだちの“真の地元議員”として、また、議会において議員としての結果を残している議員として、政治が何もできないままに、ふるさと交野市が埋もれていく状況を看過できません!

もう“ハッタリ”や“パフォーマンス”だけの政治家はいりません! そんな時代ではありません。引続き、地域の“底力”を引き出して『財政再建』に取組みます。政権与党所属の地方議員の一人として、国と大阪府・交野市をつないで、それぞれの財政支援の強化に努めて参ります。

皆様、どうか政治をあきらめないで、この松本直高と一緒に大阪を良くしましょう! そして、誇れるふるさとを次世代に引き継いでいきましょう!!!

※大阪府政に対する想いや政策提言につきましては、今後、順次、皆様にお知らせしていく予定です。



第65回自由民主党大阪府支部連合会

## 市政報告会

平成27年2月28日(土)

午後13:00～15:00

(受付は12:30から)

会場  
ゆうゆうセンター4階 多目的ホール



募 集しています!

スタッフ・学生インターン  
政務調査や事務、ポスティング活動など協力頂ける方を募集しています。

街頭ポスター掲示場所  
一人でも多くの市民に御覧いただきたく、掲示していただける場所を募集しております。

お問合せ先 **TEL:072-892-7055**  
後援会事務所: 交野市私部西1丁目1-17  
E-mail: [naosan7055@yellow.plala.or.jp](mailto:naosan7055@yellow.plala.or.jp)  
※サイトからもご応募いただけます(裏面下をご覧ください)。



近況活動 2014年11月～2015年2月

## 視察報告 (岩見沢市・南幌町)

11月20日に、岩見沢市のICTの高度利用による『住民生活の向上』と『地域経済の活性化』の取組みを視察し、翌21日には、南幌町の『ふるさと納税』の視察を行いました。特に、南幌町では、ふるさと納税デビューもして、体験型の有意義な視察となりました。



岩見沢コミュニティプラザ



## 松本直高 PROFILE ※2015年2月現在

平成23年9月交野市議会議員選挙 初当選(1期目)

自民党大阪府連 青年局会計監査 市町村議員連盟事務局次長 交野市支部支部長

昭和47年6月 交野市私部に生まれる(向井田在住)

【最終学歴】同志社大学大学院総合政策科学研究科博士課程(後期課程) 在学中

【現在】税理士・行政書士(アクトブレイン総合事務所所長) 特定非営利活動法人シビルブレイン 会長(前代表理事) など

【その他】宅地建物取引主任者・FP2級技能士(AFP)・居合道 無双直伝英信流(全居連武段) など

プロの視点から市政をチェック!  
松本直高の市政報告書「M-REPORT」



これまでの「M-REPORT」のバックナンバーは  
わくわくかたのクラブのサイトをご覧ください

松本直高の議員活動、募集詳細等は  
こちらのサイトをご覧ください



わくわくかたのクラブ  
[www.business1.jp/wakuwaku\\_katano](http://www.business1.jp/wakuwaku_katano)



松本直高の Facebook  
[www.facebook.com/naotaka.matsumoto.7](http://www.facebook.com/naotaka.matsumoto.7)



# 適正な行政経営について

前市長の数々の疑惑への対応について

## 市民は“疑惑”に対するケジメを求めています!

昨年9月の市長選挙の際、市民より前市長の判断に基づく施策などに対して疑問視や不安視する声が聞こえていたところ、新聞各紙においても取沙汰された疑惑的な問題は、有権者における市長選挙の判断材料となったものと認識しております。

また、そんな市政運営を“変えていくべき”という有権者の方々の判断も、新市長誕生という結果にあらわれているものと感じております。

本当に利益供与などはなかったのか、また、その手続は適正であったのかなど、公費の流れや意思決定過程に対する市民の関心も高く、決して、このまま前市政での判断であったとして放置して、市民への説明責任を果たさなくても良いものではありません。黒田市政が市民の感覚を大切に、市民に寄り添った市政を心がけていただきたいと思います。かかると感じる疑惑に対する市長の今後の対応について質問しました。



松本

**問** 市長は、前市長に係わる数々の疑惑について、一定、行政として市民に説明するべきであり、どのように考えているのかお聞かせください。

**答** 市民の疑問や不安が解消されるよう、また、市の信頼回復につなげていくために事実関係を含めまして検証し、その検証を行う過程の中で、市民の皆さまや議会に対しまして説明責任を果たしてまいります。

## 12月議会の報告

### 議員報酬等、増額議案について

12月議会の初日に、議員報酬等や特別職・一般職員の給与等を増額する議案が上程され、私を含めた議会運営委員会に出席できない無党派3人が席を立てて棄権しました。

国の勧告を受けての改正案でしたので基本的に反対するものではありませんが、府内ワースト2の借金問題を抱え、いつも「厳しい財政下」と市民に言い訳をしている交野市において、現時点で、政治に責任を有する議員の報酬等や市長の給与等までも増額を許して良いものか、ただでさえ、市民から、同規模他市と比べて54万円の議員報酬が「高すぎる!」と言われておりますところ、理事者側の議案説明では、市民に対する説明責任が果たせるのかという疑問も残り、どうしても、その場において賛否の判断することができませんでした。

個人的には、報酬等が上がっても、その分、しっかりと働けば良いとの思いですが、理事者側の議案説明では、市民に対する説明責任が果たせるのかという疑問も残りました。

議案は、議場に残った11名の議員によって異議なく承認されましたので、私の報酬も増額されるのですが、その分は、しっかりと議員としての仕事の結果をもって、市民への説明に代えさせていただきます。

しかし、議員定数15人中、現在14人で、議長を除いて13人ですから7人で過半数になり、今回のように3人が棄権すれば6人の賛成でも議案が可決します。

**前期にカタチだけの「議会改革」を行ったことで、ナンでもカンでも減らした「ツケ」であり、改めて「何が『改革』なのか」市民の声を聞かせていただきたいと感じた次第です!**

# 公共調達改革について

地域振興対策の視点について

公正・公平な視点で  
チェック!



## 公正で透明な手続の制度構築に取り組む

交野市では、平成25年度・平成26年度にわたり、公正・公平性ととも地域振興の視点から公共調達改革に取り組む、公正で透明な手続の制度構築に取り組んできました。一般会計においては、年間約50億円が公共調達にかかる支出であると聞いておりますことから、松本も業者との癒着や利権化の排除などを徹底するため、公正で公平な視点から数々の改革案を提言し、この交野市の公共調達制度改革に対して取り組んでまいりました。税理士・行政書士である松本が、その専門性を最も発揮できる分野の一つとして、市内業界団体や市内業者の要望を受けた政策提言のほとんどを市の職員と協力して実現し、ようやく完成に近づいたところとす。松本が胸を張って「市議会議員として成し遂げた仕事」といえる一つです!

松本

**問** 交野市内の産業振興という視点から、いわゆる「少額随契」に係る地域振興対策の取り組みの現状と今後について、お聞かせください。

**答** 市内の入札参加登録業者を優先し、担当課において業者選定を行っておりますところ、予定価格が50万円未満の小規模な修理工事については、地域振興対策の視点から、効果的な運用ができていない**営繕登録制度の抜本的な見直しを行い、あわせて周知を図ってまいります。**

## 交野市の公共調達改革とは

### 随意契約

#### ① 随意契約ガイドライン改訂(平成26年4月1日)

- ・原則手続である競争入札を再確認
- ・随意契約理由書の付記やチェック体制の充実
- ・契約方法の決定過程の統一化
- ・業者選定における市内業者優先の明確化

#### ② 小規模営繕登録制度の抜本的改正

#### ③ 水道局会計規程改正

### 入札制度

#### ① 地元業者活用の要請文(下請、資材調達及び雇用促進)

#### ② 大規模工事への総合評価落札方式入札の導入(地域振興等を評価)

#### ③ 法令遵守による適正な予定価格の設定

#### ④ (実績評価型) 制限付一般競争入札の導入(地元貢献・地域振興を評価)

#### ⑤ 工事の格付における地元業者への数値加算を指定7業種まで拡大

**交野市入札制度** 市役所本体以外、個別に入札事務を行うのは水道局のみ(ただし、入札参加資格審査の受付は一本化して行う)。

発注元	種別	入札方法	金額
市役所	建設工事	総合評価落札方式入札	平成26年度試行的導入
		実績申告型制限付一般競争入札	平成26年度試行的導入
		制限付一般競争入札	1千万円以上(建のみ2千万円以上)
		指名競争入札	130万円以上
		随意契約	130万円未満(50万円未満)
水道局	建設工事	制限付一般競争入札	1千万円以上
		条件付一般競争入札	1億円以上
	測量・設計	公券型指名競争入札	500万円以上1億円未満 1千万円以上1億円未満
条件付一般競争入札		1千万円以上	
市役所	委託役務	指名競争入札	50万円以上
		制限付一般競争入札	年額1千万円以上
	物品	指名競争入札	80万円以上



# ふるさと納税

- ・本市の現状と今後の取組みについて (第3回)
- ・今後の展開について (第4回)

## 交野のイメージ回復と財源確保の“一挙両得”を目指して!

最近、テレビや新聞などでよく目にするいわゆる「ふるさと納税」ですが、最近、国民的に非常に関心の高いものとなってきており、熱心に取り組んでおられる他市などにおいては、多額の寄附金を獲得され、住民の福祉の向上の財源として大いに活用されています。交野市にとって、この「ふるさと納税」は、厳しい財政下における財源の確保だけでなく、大きくは「まちの営業」と位置づけられている『シティ・プロモーション』の観点からも、**まちの魅力を発信する有効な手段の一つ**だと考えております。また、他の市町村に勝るとも劣らない取組みをしたとしても、それが周知されていなければ、寄附者の獲得や交野市の魅力発信には結びつきません。

ここ一年ほど、とりわけ、先の市長選挙にともない、良いも悪いもこの交野市の名前が全国に広まったことは記憶に新しいことです。しかしながら、誰しもが、郷土の交野が全国的にも知れ渡るのであれば、やはり“素敵なまちやな!”といった良いイメージが望ましいはずです。是非はともかく、交野市の知名度が上がったのは確かです。まちの魅力を発信し、ついってしまった悪いイメージを払拭すること、それこそがまさに『シティ・プロモーション』のなせる技です。交野うまれ交野ぞだちの“真の地元議員”であるとの想いをもって「ふるさと納税」の活用が「まちの営業」につなげられるよう、税理士としての知識・経験も活かして、しっかりと取り組んでまいります!



写真：交野市ホームページより

**問** 今後「ふるさと納税」に対する展望についてお聞かせください。

**答** 「ふるさと納税」は、工夫次第で寄附者を獲得できる可能性を大いに秘めていることは明確であり、また、市の歳入に関わるものですので、今後、交野市に魅力を感じていただいた寄附者の利便性の向上につながるよう工夫を凝らし、一人でも多くの寄附者を獲得するため、他市の例を参考にしながら、**有効な手段について更なる取組みを進めていきます。**

**問** 市としては、どのような制度周知をお考えですか。

**答** 市広報紙への掲載、ホームページの充実と併せてパンフレットを見直します。また、ご提案にもありますように、市内小中学校の卒業生が同窓会を開く際に「ふるさと納税」のパンフレットを配布することも有効な手段であり、各学校に協力して戴けるよう調整をします。

### 「ふるさと納税」制度について

「ふるさと納税」制度は、自身が「生まれ育ったまち」や「好きなまち」など、想い入れのある「まち」を、寄附という形で応援するもので、平成20年度の税制改正によりスタートした制度です。

#### 特色

- ① 応援する形を寄附者自身が選択できる
- ② 寄附をすれば、所得税・住民税の控除ができる
- ③ 寄附の謝礼としての特産品が買える

→ くわしくは交野市ホームページ「交野ふるさと寄附」の情報をご覧ください

# 所信表明

- ・黒田市長の基本姿勢と重点施策について

## 新しい“交野”が始まっています!

黒田市長は、前市長の後継者ではなく、選挙で戦い、民意によって選ばれその地位に在ります。「住民サービス」において、法令によって国から義務づけられている事業との上乗せや横出し部分以外、市独自の事業等で前市政から引継ぐことは、それほど多いとは思えません。むしろ、変えていくべきの方が多くのように思えますし、それこそが、先の市長選挙における有権者の民意であったのではないかと感じております。他方、松本は、これまで財源減の確保をはじめとする財政再建につながることや適正な行政運営に関するいくつかの提言を行ってまいりました。前市政の対応は、概ね前向きなものであったと認識しており、議会からの具体的な提言について、議員出身の新市長が、どのように対応していくのか確認しました。



松本

**問** これまでの市政、とりわけ中田市政からの継続すること、また変更することについて。

**答** 第4次交野市総合計画みんなの“かたの”基本構想において示している施策化の視点や多様性の容認という理念については、基本路線として継承し、変更していくところとしては、**ファシリティマネジメントの対応などを含め、複雑化・専門化する行政課題に的確に対応し、説明責任を果たすため、政策立案の部門の強化などを検討**します。また、市独自の事業については、今後、各部局とも議論を重ね、判断してまいります。

### 松本の具体的な提言について | 市長答弁より抜粋

“ 議員お示しの具体的なメニューにつきましては、その必要性について議員と同じ認識であります。 ”

- ① **新公会計制度**  
全国的な課題であり、本市としても遅れることなく取り組んでまいります。
- ② **市場化テスト**  
実際にどのような業務において、市場化テストを導入できるかを含めまして、まずは業務点検を行ってまいります。
- ③ **個別外部監査制度**  
導入につきまして、その実施に際して条例を制定する必要があり、平成27年度には必要な規程等を整えてまいります。

問

これまでの「協働」に対する様々な取組みの整理を行い、フレームワーク的な部分についての体系化することについて。

答

まちづくりに関わる多様な主体や行政側については、そもそも「協働」というものが理解されていないのではないかと感じているところであり、全国的にも「協働」を理解し、共有するためのツールを策定している自治体が多く、本市としてもこれまで以上に住民参加のまちづくりを進めて行く上で、**改めて「協働」というものを理解し、共有していくことが大変重要**ではないかと考えております。

### 『協働マニュアル』等の作成 | 市長答弁より抜粋

“ 私としては、やはり、一定の「協働」を共有するツールは必要であると考えており、さらに「協働」を進めるためのツールの策定を検討してまいります。 ”



問

『星田北地域でのまちづくり』について、本市としてどこまでの支援を考えておられるのか、市長の意気込みをお聞かせ下さい。

答

この土地区画整理事業は、新たな交野を生み出す契機になるものと認識し、将来には税収増につながることから、厳しい財政状況下ですが、**成功に向けてでき得る限りの支援を行う**必要があります。技術的な支援策としても、専任の組織体制で成功されている事例を参考に、でき得る限りの支援体制で取り組んでまいります。



問

『産業振興』について、具体的には、どのようなことをお考えなのかお聞かせ下さい。

答

「交野市産業振興基本条例」に基づく基本計画に掲げる取組みを、事業者や産業団体等の柔軟な発想とスピード感によって事業を提案する「**産業版事業提案制度**」という仕組みを創設して、地域産業が少しでも活性化していく流れを生み出し、雇用の創出と確保へと波及させたいと考えております。

\*シティ・プロモーション (いわゆる「まちの営業」) とは、「自治体のイメージを高め、愛着度を形成し、かつ経営資源の獲得を目指す活動であり、その手段として「おりひめちゃん」などの『ゆるキャラ』の活用や「ふるさと納税」の活用は大変有効です。」(市答弁より)

交野市の実績 (平成25年度)	交野市の今後の取組み (市答弁より)
寄附件数38件で、 合計1,591,752円の寄附金がありました。 →平成27年(暦年)以降の件数と寄附金額の増加が“成果”です!	<ul style="list-style-type: none"> <li>・追加の特産品の公募 </li> <li>・「体験型」「観光型」の特典を追加 </li> <li>・寄附金額に応じた特典・特産品の区分の設置</li> <li>・寄附金の使途の公表と用途の募集</li> <li>・ホームページの充実</li> <li>・パンフレットの改訂</li> <li>・民間のふるさと納税サイトの活用</li> </ul>